

# セブ島に学ぶ

東洋大国際地域学部研修から

\* 7 \*

## 報告者

国際地域学科3年 江口 麻衣子  
同 ボス・ラス・パウデル



江口 麻衣子さん



ボス・ラス・パウデルさん

## 生産者に適正賃金

### フェアトレード 女性らの生活向上支援

Luz, Homeowner  
s Multi-Purpose  
Cooperative)  
「メガム」(Mega M  
oms Multi-Purpos  
e Cooperative)  
「南のパートナー」は19  
90年2月に設立されたフェ

生さんたちが立ち上げたNGO「ペバップ」が輸入販売に携わっています。私たちが訪問したときも、同大の学生さんがインターンとしてお店で働いていました。

スラムのリーダー

次の2つは、研修に参加した学生全員で調査を行ったバランガイルスの住民組織です。コミュニティ開発の1環として、女性たちが経済力をつけようと活動していま



メガマムの店に展示されているネックレス。中央が筆者のボスさん

も有名な女性です。この団体では、毎日大量に

飲まれているジュースのバッグから買物バッグを作っています。大量に出るごみのリサイクルと女性の収入向上が一つになったユニークな活動です。収集・洗浄したジュースパックから、注文に応じたデザインやサイズのバッグを作っています。バッグ以外にも、ジュースパックを使ってエプロンやスリッパなど30、40種類の商品を、主にヨーロッパから注文を受けて作っています。

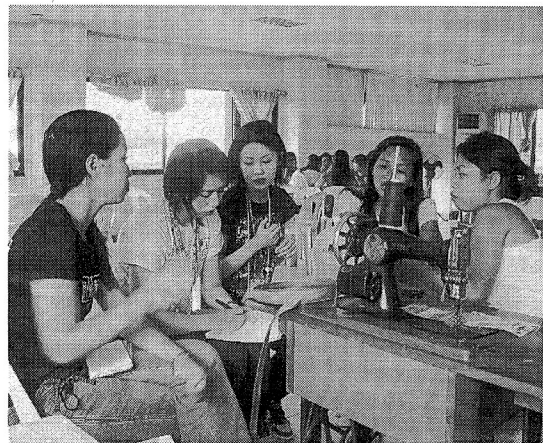
### 住民自身が活動

フェアトレードとは、経済的に厳しい状況にある生産者に適正な賃金を払うことで、その生活向上を支援していく活動です。

今回の研修中に、私たちはフェアトレードにかかわる3団体について調査しました。セブ市で訪問したのは次の3つです。

「南のパートナー」(Southern Partners And Fair Trade Corporation)  
「バランガイルス多目的生活協同組合」(Barangay

多目的生活協同組合は、1990年に設立されました。リーダーのニータ・カブレラさんは、スラムの住民組織のリーダーとしてフィリピンで



多目的生活協同組合メンバーへの聞き取り作業。中央が筆者の江口さん

メガマムも、やはりバランガイルスのお母さんたちが立ち上げた2006年設立の新しい組織です。

地元のカトリック団体の支援を受けており、お店兼オフィスは、その敷地内にあります。ある貿易会社から無料でもらった貝殻、木材、そしてナイロンから、ネックレスや

### アクセサリー作り

2週間という短い間でしたが、自分たちのコミュニティを改善していくとする3つの団体を訪問し、商品をつくり観察しながら、生産者から直接話を聞かせてもらうことができました。

セブのフェアトレード活動はまだ新しい試みであることがわかりましたが、農村部でも都市スラムでも住民たち自身が地道な活動に取り組んでいます。とりわけ、かわついで、多くの女性たちが活発的で、地域で大きな役割を果たしていることがわかりました。何よりも、スラムの貧しい女性たちが自分たちで仕事を作り出し、収入を向上させ、その結果として、自信を持つようになったことはすばらしいと思います。